歴代会長の紹介

初代会長 **菊 井 清 寿** 大正 6 年から大正 11 年		『横浜鋼鉄板金工業組合』を設立。設立後の基礎造りを始め、福利厚生、技術開発、請負工事の協力化、組合の加入促進に努められた。
二代会長 **倉 橋 幸 吉** 大正 11 年から昭和 5 年		神奈川県指令商第 2140 号公認横浜銅工事組合と改名した。組合員に工事請負標準価格額を定めて配布し、経営安定に努めると共に、各事業の見習工に従弟修了証制度を設けて技能向上に力を入れられた。
三代会長 **清水茂十郎** 昭和 5 年から昭和 13 年		昭和 5 年、神奈川県板金工業組合横浜市連合会と改名して横浜商工会議所に届け、諸団体との交流を計った。昭和 7 年支那事変勃発以来、戦々拡大に依り国民に召集令が下り、組合員から出征する者も出始め、組合運営にも苦慮し、戦時下の組合運営に努力された。
四代会長 **中 村 運 蔵** 昭和 13 年から昭和 21 年		就任以来続く支那事変が長期化から、物価統制令に依る資材配給制度と成る。 昭和 16 年、大東亜戦争に突入の為、組合員の経営にも支障をきたし始めたので、組合員の総意を得て軍事産業協同作業所を設置して組合運営に努力された。昭和 15 年 11 月横浜銅鐵板金組合と改名。組合員 475 名。
五代会長 **野村幸三郎** 昭和 21 年から昭和 56 年		戦後の復興が始まり、資材不足の為工事請負も出来ず、組合員と共に協同組合を設立して資材の協同購入を行った。また、組合員の生活安定の為に組合火災保険制度、労災保険加入の事業を行った。昭和 42 年創立 50 周年記念大会を行い、組合員の士気を高めた。 昭和 43 年、全県下同業者と共に神奈川県板金工業組合を設立した。

歴代会長の紹介

六代会長 **佐 藤 武 雄** 昭和 56 年から昭和 61 年		安定経済の中、組合員の技能向上に努力し、クレーン玉掛け、アーク溶接等の講習を行い、指導した。 昭和 60 年 8 月、横浜市技能職団体主催の『よこはま技能まつり』に初参加し、出品作品の内容について読売新聞・神奈川新聞に掲載され、市民に好評を得た。 昭和 60 年 11 月、横浜市板金組合連合会に改名。
七代会長 **歌川菊治郎** 昭和 61 年から平成 9 年		共同受注に力を注ぎ、昭和 63 年 7 月横浜三渓園資料館工事においては銅板屋根施工を行い、組合での運営に努力された。 平成 8 年横浜市板金組合連合会 80 周年式典を新横浜プリンスホテルにて行う。
八代会長 **塩田　　力** 平成 9 年から平成 25 年		平成 11 年度より総代会での役割分担を各支部の持ち回り制と決める。平成 15 年横浜市市民局勤労福祉課で無利息・無担保で、業務用機械などの購入資金として貸付を行う委員として努める。『よこはま技能まつり』においては作品の展示・作品の制作で市民との交流に努める。
九代会長 **三 浦 貞 夫** 平成 25 年から平成 27 年		卓越した板金技術を持ち合わせ、自ら率先して組合員をまとめあげた。 また、平成 26 年には『第 19 期横浜マイスター』に板金技能士として選定された。 『よこはま技能まつり』においても表札作りにおいて達筆を振るった。
十代会長 **齋 藤 真 人** 平成 27 年から現在		平成 29 年 11 月『横浜市板金工業組合連合会設立 100 周年記念式典』を開催した。

横浜市板金組合連合会

叙勲

昭和 47 年	別府喜平次	神奈川支部	勲六等単光旭日章
50 年	伊藤正夫	南支部	勲六等単光旭日章
57 年	山口　昇	神奈川支部	勲六等単光旭日章
59 年	野村幸三郎	神奈川支部	勲四等旭日小綬章
平成 8 年	歌川菊治郎	港北支部	勲五等瑞宝章

褒章

平成 16 年	塩田　力	鶴見支部	黄綬褒章
24 年	櫻井俊雄	戸塚支部	黄綬褒章
29 年	佐久間弘之	磯子支部	黄綬褒章

労働大臣表彰（厚生労働大臣）

昭和 50 年	山口　昇	神奈川支部
平成 5 年	歌川菊治郎	港北支部
10 年	塩田　力	鶴見支部
20 年	櫻井俊雄	戸塚支部
26 年	佐久間弘之	磯子支部

神奈川県知事表彰卓越技能者

昭和 44 年	別府喜平次	神奈川支部
45 年	伊藤正夫	南支部
48 年	野村幸三郎	神奈川支部
49 年	山口　昇	神奈川支部
52 年	渡辺五郎吉	南支部
56 年	鈴木定雄	保土ヶ谷支部
平成 元年	歌川菊治郎	港北支部
3 年	塩田　力	鶴見支部
5 年	玉田　正	神奈川支部
8 年	中谷幹夫	神奈川支部
10 年	櫻井俊雄	戸塚支部
11 年	二宮康雄	港南支部
13 年	佐久間弘之	磯子支部
15 年	伊藤金太郎	南支部
18 年	三浦貞夫	旭・瀬谷支部
20 年	歌川　明	港北支部
21 年	村田隆男	神奈川支部
23 年	鈴木康男	保土ヶ谷支部

（平成８年～）

神奈川県知事表彰優秀技能者

平成 10 年	伊藤金太郎	南支部
11 年	三浦貞夫	旭・瀬谷支部
15 年	斉藤道昭	中２支部
18 年	村田隆男	神奈川支部
20 年	鈴木康男	保土ヶ谷支部
24 年	高畑幸治	神奈川支部
25 年	土田和治	金沢支部
25 年	石本雅裕	西支部
26 年	齋藤真人	鶴見支部
26 年	間川輝男	戸塚支部
27 年	萩原繁夫	保土ヶ谷支部
28 年	海藤定吉	港北支部

（平成８年～）

神奈川県知事表彰青年優秀技能者

平成 8 年	五十嵐　桂	南支部
10 年	大嶋昭博	南支部
12 年	市川　満	緑支部
17 年	高橋　良	中支部
18 年	間川要平	西支部
19 年	森田雄飛	神奈川支部
22 年	岩﨑雄太	金沢支部
23 年	横田靖樹	港南支部
24 年	安田翔太	港南支部
28 年	福田　隼	港南支部

横浜市技能功労者　平成 8 年～ 29 年度

受賞年度	受賞者名	支部名
平成 8 年	川内　実	戸塚支部
8 年	中谷幹夫	神奈川支部
8 年	高柳松二	鶴見支部
9 年	金沢恒雄	旭・瀬谷支部
9 年	松崎　治	鶴見支部
9 年	望月　昭	南支部
10 年	櫻井俊雄	戸塚支部
10 年	塩田　力	鶴見支部
10 年	小林金作	南支部
11 年	福岡武彦	鶴見支部
11 年	木村雄一	戸塚支部
11 年	歌川　明	港北支部
12 年	三浦貞夫	旭・瀬谷支部
12 年	土田和治	金沢支部
12 年	杉山道雄	鶴見支部
13 年	野中春次	南支部
13 年	山崎基弘	金沢支部
13 年	佐久間正夫	港南支部
14 年	二宮貞男	港南支部
14 年	村田隆男	神奈川支部
14 年	大嶋武久	南支部
15 年	間川竹一郎	西支部
15 年	間川輝男	戸塚支部
15 年	本宮三郎	港北支部
16 年	矢吹金三	神奈川支部
16 年	田村市郎	神奈川支部
16 年	菅野靖弘	港南支部
17 年	金子保久	緑支部
17 年	小森　稔	南支部
18 年	佐藤栄吉	金沢支部
18 年	矢野眞一	保土ヶ谷支部
18 年	田中敏一	南支部
19 年	内田健次郎	神奈川支部
19 年	沼田郁夫	西支部
19 年	萩原茂男	南支部
20 年	高畑幸治	神奈川支部
20 年	津久井義晴	鶴見支部
20 年	矢島秀夫	南支部
21 年	鶴岡　孝	南支部
平成 22 年	海藤定吉	港北支部
22 年	山内昭次	旭・瀬谷支部
22 年	鈴木康男	保土ヶ谷支部
23 年	高野國俊	港北支部
23 年	林　好重	港南支部
23 年	足沢春雄	港南支部
24 年	古川　徹	神奈川支部
24 年	岩瀬鉄四郎	神奈川支部
24 年	矢野真佐男	南支部
24 年	佐野公一	南支部
25 年	歌川喜久雄	港北支部
25 年	星野美智男	港北支部
25 年	三村　清	西支部
26 年	中村鉄一	港北支部
28 年	伊藤祐吉	南支部
28 年	佐久間敏昭	港北支部
28 年	岩崎繁雄	金沢支部
28 年	青木龍雄	金沢支部
29 年	長島慎一	南支部
29 年	宮原栄治郎	南支部

横浜市優秀技能者　平成 8 年～ 29 年度

受賞年度	受賞者名	支部名
平成 8 年	伊藤祐吉	南支部
8 年	海藤定吉	港北支部
8 年	萩原繁夫	保土ヶ谷支部
9 年	鈴木孝二	戸塚支部
9 年	松井公雄	鶴見支部
9 年	佐野公一	南支部
10 年	見留一利	保土ヶ谷支部
10 年	高野國俊	港北支部
10 年	深澤　聡志	南支部
11 年	別府喜一	神奈川支部
11 年	伊藤謙一	保土ヶ谷支部
11 年	井伊谷太介	西支部
12 年	佐久間一郎	磯子支部
12 年	齋藤真人	鶴見支部
12 年	市川　満	緑支部
13 年	櫻井　徹	戸塚支部
13 年	丸山広幸	中支部
13 年	今川英夫	保土ヶ谷支部
14 年	石田猛郎	港北支部
14 年	山口秀起	神奈川支部
14 年	塩田省吾	鶴見支部
15 年	村田　清	神奈川支部
15 年	石本雅裕	西支部
15 年	鈴木　剛	緑支部
16 年	横田幸則	港南支部
16 年	佐藤真司	港北支部
16 年	森　一泰	南支部
17 年	福田長幸	港南支部
17 年	間川　亮太	戸塚支部
17 年	五十嵐　桂	南支部
18 年	深井　浩士	旭・瀬谷支部
18 年	高野　雄大	港北支部
18 年	矢野　良明	保土ヶ谷支部
19 年	海藤　芳則	港北支部
19 年	立脇　義晴	南支部
19 年	松永　博文	南支部
平成 20 年	古川兼司	神奈川支部
20 年	星野敏彦	鶴見支部
20 年	中村修平	西支部
21 年	常田喜彦	神奈川支部
21 年	歌川晶夫	港北支部
21 年	高畑友介	神奈川支部
22 年	二宮康孝	港南支部
22 年	岡本昌明	港南支部
22 年	倉田孝志	保土ヶ谷支部
23 年	蒲谷正信	金沢支部
23 年	井上清明	南支部
23 年	間川要平	西支部
24 年	小野井政二	戸塚支部
24 年	田邊宏行	戸塚支部
24 年	多田　史	港北支部
24 年	森田雄飛	神奈川支部
25 年	佐久間正和	港南支部
25 年	鈴木　進	金沢支部
25 年	新倉崇司	保土ヶ谷支部
26 年	佐藤雅人	港北支部
26 年	田村悠樹	港南支部
26 年	平賀英樹	港南支部
26 年	松崎信治	旭・瀬谷支部
26 年	小林　浩	南支部
26 年	小笠原健一	南支部
26 年	大澤憲一	南支部
27 年	高橋　良	中支部
27 年	中澤倫明	南支部
27 年	和栗衛一	南支部
28 年	三浦信弘	旭・瀬谷支部
28 年	林　秀樹	金沢支部
28 年	浅利裕之	港南支部
29 年	岩崎雄太	金沢支部
29 年	山内昭頼	旭・瀬谷支部
29 年	塙　隆憲	港南支部

横浜市主催「匠の小学校」

横浜市では、「夏休み特別企画」として毎年 8 月の末に、抽選で選ばれた小学生とその父兄を対象に、「匠の小学校」という子供体験教室が大通り公園横にある横浜市技能文化会館で開催されています。子供たちの夏休みの自由研究や工作の宿題にぴったりのとても人気のイベントです

横浜市板金組合連合会はもとより、大工さん、塗装屋さん、左官屋さんなどの横浜の職人さんたち、12 団体の方々と大勢のボランティアの方々に支えられ、毎年、参加者 1500 人を超える一大イベントとなっています。当連合会では、薄銅板を使用して、干支やキャラクターのレリーフ作りを、午前と午後、約 40 組の親子に体験をしてもらっています。

例年、子供たちのそれはとても真剣に製作する姿に、講師の皆さんも一生懸命指導して、いつも“くたくた”な様子です。しかしながら作品の完成時に見せる子供たちのキラキラとした笑顔を見ると、疲れもなんのその、来年も子供たちに喜んでもらえるように頑張ろうと毎年のように思っているようです。

この素晴らしいイベントがいつまでも続けられるように私たち板金組合連合会も　一致団結して、組合活動に精進してゆきたいと考えています。

役員研修会

当　横浜市板金組合連合会では、毎年恒例の研修会を２月に開催しております。

今回の研修会は、保土ヶ谷支部担当で、参加者 21 名でスパリゾート・ハワイアンズに一泊で行くことが決まり、今までにない計画で期待と不安もありましたが、2 月 12 日（日）横浜市営バスターミナルから、送迎バスに乗り 9：20 に出発しました。途中、守谷 SA と中郷 SA で休憩を取り、13：00 に着きました。昼食は、バイキングでイベントを見ながら賑やかにおいしい食事を取る事が出来ました。

夜は、華やかなハワイアンダンスショーを鑑賞して大変感動しました。

翌日はタクシーで、いわき市石炭化石館に行き、「大いなる古代の遺産と甦る炭鉱」を見学し、石炭の掘削技術の進歩を学び、先人たちの苦労と努力を知ることが出来ました。　15：00 ハワイアンズを出発、19：00 頃横浜に帰って来ました。担当支部の皆様、ご苦労さまでした。私達も今後の研修会の企画の参考になると思いました。

これからも研修会という形で、役員の親睦と知識と技術を習得していきたいと思います。

よこはま技能まつり

横浜市主催の「よこはま技能まつり」を、横浜公園で 10 月下旬の日曜日に催しています。横浜市板金組合連合会も昭和 60 年の第 6 回より毎年参加しております。横浜市の各支部の方々、役員の皆様は早朝より教材、道具、製品、その他の搬入をしてから、開始の準備をして、お客様がいらっしゃるのを待ちます。隣のテントでも青年部の部員が製品の販売の準備などしております。

第 37 回よこはま技能まつりに参加するにあたり、当組合でもおそろいのエプロンをつけて接客にあたりました。連合役員 20 名・青年部員 10 名、計 30 名体制で臨んでいます。また、神奈川県板金工業組合の理事の方々も応援にかけつけてくださいます。

銅板で表札、キャラクター、干支などのレリーフ作りをお客様と一緒に製作したり、組合委員の製作した作品の展示即売も行い、毎年盛況のうちに完売するほどの人気です。

このイベントには 30 種以上の団体が参加しています。